

上部内視鏡検査・治療に関する説明・同意書

【検査の目的】

上部消化管内視鏡は食道・胃・十二指腸の一部を内視鏡で観察し、食道炎や胃十二指腸潰瘍、がんなどの病変があるかを調べる検査です。必要時に粘膜の一部を採取して病理検査を行います。出血している場合は止血術をおこなうこともあります。

【方法】

のどの麻酔をおこないます。次に左を下の体勢でベッドに横になってもらいます。マウスピースをくわえてもらって、検査を開始します。希望に応じて注射(鎮静剤)を使用し、内視鏡を口から挿入し、食道・胃・十二指腸の一部を観察します。検査時間は5-10分です。のどの麻酔をしますので検査後1時間は飲食できません。

【内視鏡で使用する鎮静剤について】

のどの麻酔のみですと、意識がはっきりしていますので、特に若い方は嘔吐反射により、苦痛を伴うことがあります。そこで希望に応じて、鎮静剤を注射し、寝ているか、ぼーっとしている間に内視鏡を行います。検査後も眠くなることがありますので、当日は車、自転車、オートバイの運転はお控えください。

【偶発症】

この検査を受けることで一定の確率で偶発症をきたします。

全国規模での統計上は、のどの麻酔、鎮静剤により、0.0028%に呼吸抑制、ショック、0.0005%に死亡例、胃内視鏡では0.005%に出血や穿孔などの偶発症、0.00013%に死亡例が報告されています。頻度は低いですが、もし偶発症が発生した場合はその場

で適切な対応(内視鏡処置、転送など)を取ります。その際は保険診療で行われます。

【そのほかの検査方法】

バリウムを飲んでレントゲンで撮影する胃透視検査があります。上部消化管内視鏡のほうが詳しい胃の粘膜を直接観察が可能で、組織検査が可能であるためおすすめしています。

以上のとおりですがわからないことがありましたら質問してください。

納得でき、検査を受けることに同意いただければ、以下の同意書に署名をお願いします。なお、同意を拒否されても、直前で同意を撤回されても診療上の不利益を受ける事はありません。

年 月 日

説明医師 菅野 朝

同 意 書

武蔵野台クリニック 内科・消化器内科 院長 殿

私(または代理人)は上部消化管内視鏡を受けるに当たり、検査の内容、必要性について説明を受け、承諾しましたので内視鏡検査の実施をお願いいたします。

年 月 日

患者署名

緊急連絡先 氏名 (本人との関係)

電話番号

代理人署名 (本人との関係)